

# 川崎市 中小企業のESG経営実態把握調査

サンプル

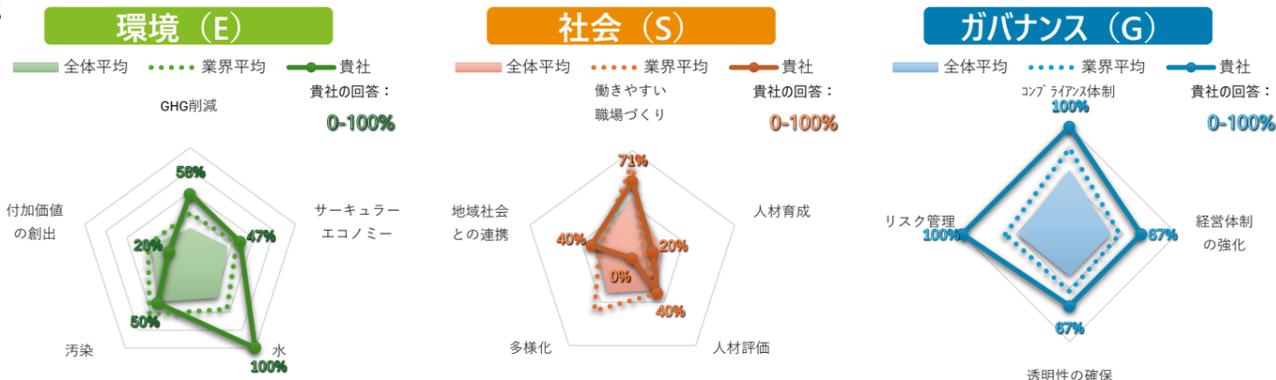
発行年月：令和8年3月

## E S G 経営カルテ

企業名	〇〇〇〇株式会社		
ご回答者様	〇〇	〇〇	
該当業種	〇〇〇	同業他社数	〇社

※アンケートに回答した同業他社の総数です。

### 総評



貴社は業界平均と比較し、水に関する取組は最も進んでいます。一方で、付加価値の創出に関する取組は、今後強化・充実する余地があります。

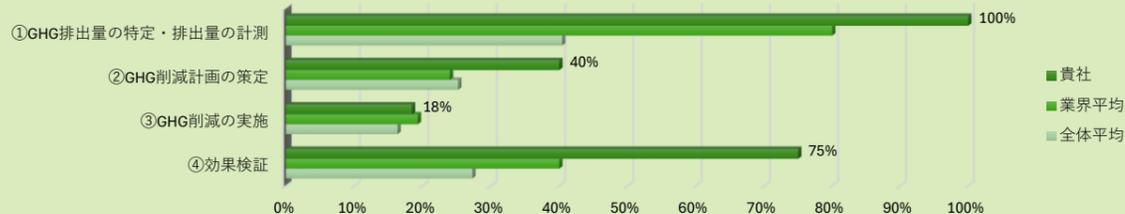
貴社は業界平均と比較し、人材育成、地域社会との連携に関する取組は最も進んでいます。一方で、多様化に関する取組は、今後強化・充実する余地があります。

貴社は業界平均と比較し、リスク管理に関する取組は最も進んでいます。

※汚染に関する3つの設問に「各設問で「汚染していない。」と回答した場合には、50%になるように計算しています。

### ネクストステップ

#### E 環境 (E) ……温室効果ガス排出



#### 温室効果ガスの排出源の特定・排出量の計測

**貴社の回答** GHG排出量を測定している。

**ネクストステップ** GHG排出量の測定について、適切な対応が講じられています。

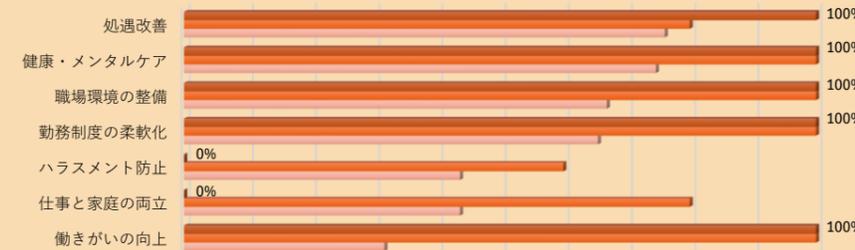
#### 温室効果ガス排出の削減の実施

**貴社の回答** LEDへ変更している。

**ネクストステップ** LEDへの変更を着実に進められており、望ましい状況です。その上で、以下のステップに未実施の内容がある場合は、実施をご検討ください。

- ・再エネの購入：再生可能エネルギーを提供する電力会社やプランを確認し、既存の契約内容との料金差とCO2排出削減効果を試算し、購入を検討する。
- ・再エネ設備の導入：太陽光発電等の技術を選定し、取り扱う業者への相談を通じて設置可否や費用対効果を評価した上で、導入を検討する。また、活用可能な補助金についても確認する。

#### S 社会 (S) ……働きやすい職場づくり



#### 勤務制度の柔軟化

**貴社の回答** 労働時間短縮、フレックス、リモートワーク、有給休暇促進等に取り組んでいる

**ネクストステップ** ハラスメントの防止に関する取組について着実に進められており、望ましい状況です。その上で、以下のステップに未実施の内容がある場合は、実施をご検討ください。

- ・研修の実施：実例を用いたロールプレイ中心の実践型研修を行い、従業員への認知や行動変容を促進する。
- ・相談窓口の整備：外部ホットライン等の活用を含めた相談窓口の設置を検討するとともに、受付から初動対応・調査までの手順および非報復方針を明確化する。
- ・再発防止：事案の重篤度に応じた是正措置や懲戒、再教育の実施方針を検討する。

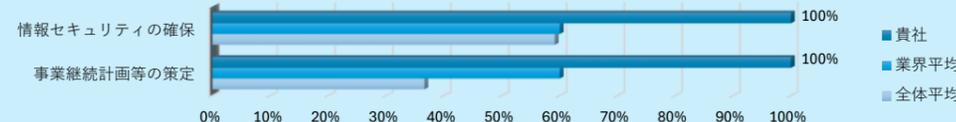
#### 仕事と家庭の両立

**貴社の回答** 育児・介護支援等に取り組んでいない

**ネクストステップ** 以下のステップの実施をご検討ください。

- ・柔軟に働ける仕組みの導入：フレックス勤務、在宅勤務、時差出勤、短時間勤務、仕事の分担（ジョブシェア）等、従業員が選択できる働き方を整備する。
- ・休業取得・復職の支援：休業時の制度案内や面談の実施、復職時の段階的な復職プランの策定等、休業と復職を支援する体制を整備する。
- ・経済的・実務的支援の導入：ベビーシッターや病児保育、介護サービスの補助等を導入する。

#### G ガバナンス (G) ……リスク管理



#### 情報セキュリティの確保

**貴社の回答** 取り組んでいる

**ネクストステップ** 情報セキュリティの確保に関する取組について着実に進められており、望ましい状況です。その上で、以下のステップに未実施の内容がある場合は、実施をご検討ください。

- ・情報セキュリティ方針の策定：保護すべき情報の範囲と管理方法を明確化し、自社に適した情報セキュリティ方針を策定する。
- ・緊急時対応・体制の検討：緊急時を想定し、原因の特定・被害拡大の防止・復旧手順を検討するとともに、対応体制を整備する。
- ・文書化：策定した方針や手順を文書化したうえで、従業員や取引先に対し周知・説明を行う。

#### 事業継続計画等の策定

**貴社の回答** 取り組んでいる

**ネクストステップ** 事業継続計画等の策定に関する取組について着実にすすまられており、望ましい状況です。その上で、以下のステップに未実施の内容がある場合は、実施をご検討ください。

- ・各リスクの影響分析：自然災害やサイバー攻撃等、各リスクが事業に与える影響を分析する。
- ・代替手段の検討：重要業務を継続する代替手段（代替サプライチェーン、リモートワーク等）を検討する。
- ・連絡先の確保：緊急時に迅速連絡が可能となるよう、連絡先リストを作成する。
- ・非常用設備の整備：非常用発電機、非常用食料、水、医療キット等の非常用設備を整備する。
- ・BCP計画・体制の検討：対応手順を文書化したうえで、対応チームを編成し、役割と責任を明確化する。